

夢 塾 だ よ り

～ ギターとピアノと時計とゴルフ ～

(第 38 号) 令和 2 年 9 月 30 日



中学 2 年のとき、組み立て式の安いギターを買ってもらった。普通のギターは高くて到底手に入らないから、雑誌の広告で見つけた組み立てるギターに飛びついた。なんとか音はでたものの、弾けるような代物ではなかった。「安物買いの銭失い」であった。その後、那覇の国際通りで中古の安いギターを買った。当時ギターはあこがれの楽器で、弾けるだけで女の子にもてた。私もそんな一心でギターを始めた。独学だったが一通り有名な曲は弾けるようになった。誰もが知っている「禁じられた遊び」から弾き始めた。高校 2 年の文化祭では全校生徒の前で 5 曲弾いた。今でも録音テープと写真は残っている。そのお陰で暗かった高校時代（灰色のハイスクール）にあって一輪の小さな花が咲いた。

32 歳でピアノ教室に通うことになる。ベートーベンの「月光」が弾きたい一心で。そしてその曲は真っ暗な中でも弾ける。月の光が射す中ではもっとうまく弾ける。今のコロナ禍が落ち着いたら、静かな音楽喫茶をしたいというのが私の夢で、ギター、ピアノを弾いて楽しめる空間を提供したい。



高校入学のときに、お祝いに買ってもらったラドローの腕時計、同級生が国産を持っていた時代にスイス製は自慢だった。それから何故か腕時計に魅せられた。今までに何個買ったか数えてみた。40 個は越える。教育庁勤務の時、公務で初めてハワイに行ったが、やはり記念の時計を買った。時計の持つ「個」にはそれぞれの命（エネルギー）のほとぼしりを感じるのです。だから好きなんです。そして、現在の最大の関心事は『ゴルフ』これほど私の心をもてあそぶスポーツはない。そこでゴルフ上達の方程式を考えてみた。

練習量×持続力×道具×（集中力）² ÷（力み）

ピアノでもゴルフでも大切なのは脱力、如何に力を抜くかなんです。勉強でも運動でも検定試験でも、力みっぱなしでは長くは続きませんよね。力まず力を抜いてもやれるかが勝負の鍵なんですね。お母さん、我が子に力んで迫っていませんか？

余分な「力み」は抜きましょうね。